

令和5年度シラバス

科		科 目		学年	単位数	
建築設備科 建築デザインコース		建築構造設計		3学年	2単位	
学習の到達目標		各種の建築物の特性などを理解させるとともに建築物の設計計画方法を習得させ、実際に活用する能力を養うことを目標としている。				
教科書・教材等		建築構造設計(実教出版)		授業形態	一斉授業	
関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能		知識・理解	
建築構造設計をとおして、建築物全般にも関心を持ち、意欲的に学ぼうとする意識がある。		構造計算の基本手順を把握し、それに応じた計算ができるようになる。	簡単な構造概略図を用いて計算の手順の方法を考えことができる。		構造計算の構成を理解し、その意義を認識している。	
学期	月	指 導 内 容			配当時数	評価の観点・方法
一 学 期	4	静定構造物の部材に生じる力	構造物に生じる力 構造物に生じる力の種類 部材に生じる力の求め方と表し方		25	レポート提出 評価方法 中 間、期末考査授 業態度
	5		片持ち梁の解き方 単純ばりの解き方			
	6		片持ち梁の解き方 単純ばりの解き方			
	7		片持ち梁の解き方 単純ばりの解き方			
二 学 期	9		静定ラーメンの解き方 片持ち梁の解き方 単純ばりの解き方 静定ラーメンの解き方		30	
	10	構造物と荷重および外力	静定ラーメンの解き方 施工管理対策			
	11		静定ラーメンの解き方 部材の性質と応力度			
	12		部材の性質と応力度			
三 学 期	1		部材の性質と応力度		15	
	2		はりの変形			
	3	まとめ	まとめ			
					70	